

# 宮城県助産師会だより

## ～巻頭言～

## 助産師魂で盛り上げていきましょう



代表理事(会長) 塩野悦子

早いもので今年も10月に入り、先日は中秋の名月でした。三日月も素敵ですが、まあいとお月様は人の気持ちを温かくしてくれます。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より会の運営にご支援ご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

さて、コロナ禍の生活には慣れてきたものの、新型コロナウイルス感染症はまだまだ身近に潜んでおり、油断できない状況が続いております。私たちは約10年前に東日本大震災を体験して震災後の生活が一変したわけですが、今回のコロナ後の生活もかなり一変しています。ただし今回は目にみえないウイルスとの闘いであり、全世界が被害者で、経済状況にも長期に影響し、そして何よりも医療従事者がその最前線にあります。日々最前線でご活躍の皆様には心より感謝申し上げます。

宮城県助産師会でもコロナ前とは活動の様相が大きく変わっております。月1回の理事・委員会はすべて遠隔で実施し、アドバンス助産師取得・更新応援企画の研修会も遠隔で行っています。そして毎年実施している「じょさんフェスタ」・「仙台市周産期避難所訓練」は中止、北海道・東北地区研修会は来年度に延期、「せんだい助産師サロン」は個別相談制に形式を変えて実施となっております。一方で、今年度は新たに、宮城県・仙台市からの委託事業「助産師による妊産婦電話相談」が7月から開始され、妊産婦さんの不安に微力ではありますが対応させていただいております。また、みやぎ子育て・女性健康支援センター終了（5月末）に伴い、思春期教育関連業務は保健指導部会が引き継いでおり、コロナ禍ではありますが、十数件の依頼があり講師が派遣されています。

菅政権は不妊治療から子育て支援が始まるようですが、産後ケア事業の充実化も重要課題と考えております。より活用しやすい産後ケア事業となるように、行政とも十分に検討していきますが、会員の皆様からの意見も積極的にいただけたら幸いです。それでは、令和2年度の下半期も助産師魂で盛り上げていきましょう。宮城県助産師会の事業へのご支援ならびにご参加につきまして、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



### 〔多賀城市中央公民館委託事業報告〕

塩野は、2020年10月4日(日)に多賀城市公民館主催のパパの子育て応援講座で講演を行ってきました。ご夫婦2組、パパ2名の計6名の参加でした。2～3人目の赤ちゃんのご家庭もあり、家族が増えるとパパの役割や悩みも変化していくようで、とても熱心に参加しておりました。主に産後クライシスのお話でしたが、それぞれのご家庭で役立てていただけたら嬉しいです。

## 宮城県・仙市委託事業「助産師による妊産婦電話相談」実施報告

ちさか助産院 千坂芳恵

COVID-19感染拡大に伴い、出産などに不安を抱える妊産婦への支援として、「助産師による妊産婦電話相談」がスタートしました。電話相談日は、月・水・金の13時～19時。8名の助産師が担当しております。

市町村や病院でのマタニティークラス・両親学級・育児支援関連事業等が中止・縮小された事により、妊産婦が情報を得る場が限られています。この社会的現象にいち早く対応できるシステムとして当相談事業の役割は大きいと考えます。

当事業を開始するに当たり、私たち担当助産師もCOVID-19の情報の把握に努め、対応が難しいケースにも迅速に対応できるように、情報を共有できるようなシステムを活用しています。そうすることで、相談員の不安及び負担の軽減にもつながっています。

当事業は、立ち上げから、事業開始までの期間が短く、周知の課題がありますが、ホームページ・検索エンジン・チラシ・紹介等での宣伝協力をいただきながら、少しずつではありますが相談件数は増えています。事業を開始した7月は6件。8月8件。9月が19件です。

主な相談内容は、授乳・育児に関することで、繰り返し電話相談を利用するケースも見られます。COVID-19に関する相談は1件に留まっており、対面で相談が難しい妊産婦の相談場所となっていると感じます。新しい相談場所の一つとして、今後とも、皆様のお声かけのご協力をお願いいたします。



私は、昨年6月に仙台市青葉区国見に一組一組を大切に「ちさか助産院」を開院致しました。母乳相談・食育・遊び込みを通して切れ目のない支援をめざし今後も活動していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。

「せんだい助産師サロン」は、平成30年度より仙台市委託事業として、生後2か月から4か月までの親子を対象に仙台市内各区ののびすくにおいて開催しています。

昨年度までは、ふれあい遊びやベビーマッサージを行い体重測定や育児相談を行うことで、母親たちの育児不安の軽減や母親同士のコミュニケーションの場にもなっており大変好評なイベントでしたが、COVID-19の影響により今年3月から休止となっていました。休止期間中、感染拡大状況下においてどのような形で事業再開ができるのか、担当者間で何度も話し合いました。その結果、個別相談という形で8月から再開の運びとなりました。

一組の親子に助産師が対応し、体重を測ったり、育児の悩みや心配事を傾聴しアドバイスしています。

8月末から再開されてはいますが、広報期間が十分でなかったことに加え感染拡大状況の変動からか、申し込み参加人数にばらつきはあります。参加した方は、相談することで安心したり、相談終了後に参加した母親同士で仲良くなったりする場面も見られました。

私は普段、仙台市の新生児訪問をしています。気軽に相談したい、同じ境遇の母親と知り合いたい、児と出かけてみたいという声をたくさん聞いています。

個別相談とはなっていますが、気軽に助産師とお話できる場として参加していただけたらと思っています。生後2か月から4か月児が対象となっておりますが、多胎家庭や早産児の対象時期については柔軟に対応しております。

対象の母親には、ぜひ気軽に参加していただけるように、会員の皆様からお声かけのご協力をよろしくお願ひ致します。



## 宮城県委託事業 令和2年度 助産師人材育成・復職支援研修

令和2年7月18日(土) CLoCMiP®レベルⅢ必須研修 C03 フィジカルアセスメント：妊娠期

### 妊娠期のフィジカルアセスメントと分娩介助のコツ研修参加報告

●有希●助産院 高橋有希

令和2年度最初の研修は、COVID-19の影響により、オンライン開催となりました。講師は山本助産院院長 山本詩子先生です。参加者は最も多い時には160名。最後まで受講された方は134名（会員49名、非会員4名、県外からの参加者29名、学生51名）でした。

私はオンラインでの聴講が初めてでしたが、画面も見やすく、通信トラブルもなく分かりやすかったです。我が家ではまだ乳児がいるため、とてもありがたい学習方法でした。ただ、先輩方にお会いできないのがさみしかったです。

さて、今回の研修内容で特に印象深かったのは、情報収集と分娩介助についてでした。どちらも、私自身が最も重要であると感じており、だからこそ、今までの自分の判断が常に正しかったのだろうか振り返る課題の内容でした。情報収集では、朝食を食べない妊婦を例に挙げながらご教授いただきました。問診上の注意点として、身体上の異常はなくとも、最初の印象や気になる点を記録しておく必要がある事。また、行動変容を促す指導としては、妊婦自身が実施できそうな内容を共に考える必要性を学びました。

分娩介助では、安全な分娩介助のために、正しい助産診断を求められます。図や映像を見ながら、胎児の胎向・胎勢の判断の手技を学ぶだけでなく、不正軸進入を正軸に戻す手技も指導して頂きとても分かりやすかったです。

また、分娩時の産婦への声掛けの仕方に今まで悩んでいましたが、静かに見守るという先生のスタイルはとても納得のいくもので、私の胸のつかえがとれた感じがしました。分娩に携わる際には、今回学んだ内容を活かし、産婦さんがより主体であるフリースタイル分娩を行っていきたいと思います。



私は、石巻市で母乳育児主体の助産院を開業しています。今回の講義で、妊娠中の乳房ケアの必要性についても再認識できました。助産師として妊娠中から信頼関係を築き、産後まで寄り添えるよう日々努力していきたいと思っています。



## 研修のご案内 ・ お知らせ

## &lt;今後の研修予定&gt;

◎日時: 令和2年11月21日(土) 10:00~13:45(2部構成)

## 〔第1部〕10:00~11:45 (9:30~オンライン研修開場)

CLoCMiP®レベルⅢ必須研修 C04フィジカルアセスメント:脳神経

「脳神経に関するフィジカルアセスメントとケア:妊婦の脳卒中の事例を通して」

井上敬先生(国立病院機構 仙台医療センター 脳神経外科医長)

## 〔第2部〕12:00~13:45 (10時からの研修から引き続き)

CLoCMiP®レベルⅢ必須研修 C07フィジカルアセスメント:新生児

「新生児から乳幼児のフィジカルアセスメントとケア:生まれつきの体表疾患について」

真田武彦先生(宮城県立こども病院 形成外科科長)

◎日時: 令和3年2月20日(土)10:00~13:45(2部構成)

## 〔第1部〕10:00~11:45 (9:30~オンライン研修開場)

CLoCMiP®レベルⅢ必須研修 C06フィジカルアセスメント:代謝

「妊娠に伴う代謝に関する生理的变化」

山本淳平先生(大崎市民病院 糖尿病・代謝内科)

## 〔第2部〕12:00~13:45 (10時からの研修から引き続き)

CLoCMiP®レベルⅢ必須研修 C09助産記録

「助産記録-助産師の責任と助産ケアの向上に向けて」

葛西圭子先生(東京都立大学 健康福祉学部看護学科 客員准教授)

【令和2年11月21日  
お申込みについて】◆宮城県助産師会会員専用申  
込みQRコード◆宮城県助産師会会員以外申  
込みQRコード令和3年2月20日のお申込み  
については、準備中です

## 【お問い合わせ】

一般社団法人宮城県助産師会  
教育委員・アドバンス助産師応援チーム  
メール:[a@midwife-miyagi.net](mailto:a@midwife-miyagi.net)

## 令和3年度会費の引き落としについて

令和3年2月23日前後に、次年度会費の引き落としになります。

会費23,000円 (内訳: 日本助産師会15,000円/宮城県助産師会8,000円)

期日までに残高の確認をお願いいたします。引き落としが2月に実行できなかった場合、翌月23日前後に再度引き落としとなります。自動引き落としの手続きがまだの会員は、日本助産師会にお問い合わせいただき、お手続きをお願いいたします。

引き落とし中止(退会)の届出期限は、令和2年12月28日です。



## みやぎ開業助産師マップ連絡会のご案内

「みやぎ開業助産師マップ」掲載者・新規掲載希望者各位

令和3年度改訂に向けて、連絡会を開催いたします。万障繰り合わせの上、ご参加ください。

現掲載者は出欠を11月30日(月)まで、下記までご連絡ください。新規で参加希望の会員も同じです。

◎日時: 令和3年2月5日(金) 14:00~16:00

◎対象: 現掲載者・新規掲載希望者(令和2年5月以降に開業の場合掲載基準を満たさない為、令和3年度改訂のみやぎ開業助産師マップへの掲載は出来ませんが、連絡会への参加は可能です)

◎開催方法: オンライン開催(今年度はCOVID-19対応の為、オンライン開催といたします)

◎連絡期限: 11月30日(月)

出欠・参加希望連絡先: みやぎ開業助産師マップ係 嶋村陽子 (メール: [haruru084@gmail.com](mailto:haruru084@gmail.com))

## 災害連絡網リーダー・サブリーダー会議開催のお知らせ

今年度も、下記日時に開催いたします。参加対象者は、万障繰り合わせの上、ご参加ください。

◎日時：令和3年1月23日（土） 13：00～15：00

◎開催方法：オンライン会議（今年度はCOVID-19対応の為、オンライン開催といたします）

◎参加対象者：災害連絡網グループ リーダー・サブリーダー

災害派遣登録助産師（今年度は、周産期福祉避難所に関する内容がある為、参加をお願いいたします）

◎内容：○コロナ禍の周産期福祉避難所における感染対策パンフレットの紹介 ○各グループ意見交換  
○周産期福祉避難所の在り方、当会の課題についてグループワーク ○令和2年度安否確認訓練について  
（当日変更の場合があります）

\*会議に参加の為、勤務先に派遣依頼書の提出が必要な参加対象者は、Emailにて、件名「リーダー・サブリーダー会議 派遣依頼書希望」本文に、名前 勤務先 勤務先宛名 勤務先住所を明記の上、**11月30日まで**に、宮城県助産師会 書記補佐 山口までご連絡ください。

連絡先：一般社団法人宮城県助産師会 書記補佐 山口之雪（メール：miyagisanba@gmail.com）

## 災害派遣助産師登録のお願い

宮城県助産師会は、大災害発生時や緊急事態時には会員の安全を確認後、被災地域の被害状況、被災状況、必要とされる支援等の情報収集を行い、支援が必要と判断した場合、災害派遣助産師を派遣（電話訪問等の在宅での活動含む）し母児や、女性への支援を行いたいと考えております。

会員の皆様には、この趣旨に是非ともご賛同いただき、災害派遣助産師の登録をお願いいたします。



## 【災害派遣助産師の活動内容】

- I. 仙台市周産期（妊産婦）福祉避難所 災害派遣助産師の活動
- II. 大規模自然災害時の支援活動
- III. その他の支援活動について（COVID-19 にみられるように、大災害時と同等と判断される危機的状況が発生した場合等）

※できるだけ速やかに派遣をするために会員の皆様には災害派遣助産師の事前登録をお願いいたします。登録の詳細については本会HPをご確認ください。

## 安否確認訓練について

日本助産師会を通じて、宮城県助産師会では毎年2月の第一火曜日に安否確認訓練を行っております。

今年度は

**令和3年2月2日（火）10時に**

宮城県で震度6の地震が発生したという想定で行います。

災害発生時は、できるだけ速やかにご自身のグループリーダー（サブリーダー）へ安否の連絡をしてください。

連絡網リスト、宮城県助産師会の防災マニュアルをもう一度ご確認ください。よろしくお願ひいたします。

## 生と性に関する健康教育や産前産後の健康教育の講師登録について

令和2年2月より、生と性に関する健康教育や産前産後の健康教育の講師登録を開始しております。派遣講師名簿を作成いたしますので、これから健康教育にかかわってみたい会員やサポートスタッフで参加したい会員も登録をお願いいたします。未登録の方は、右記QRコードをご利用いただき、メールフォームから実績調査へのご協力をお願いいたします。



一般社団法人宮城県助産師会

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1-1  
宮城大学看護学群 気付

電話：090-2273-3834

FAX：022-774-1970

電子メール：miyagisanba@gmail.com

## 【編集後記】

広報委員 新沼映子 根本靖子



今年度も半年が過ぎ、オンラインによる事業や会議が多い中、感染対策を講じながら、対面での事業も少しずつ行えるようになってきました。コロナ禍、医療の最前線でご活躍の皆様のご尽力に感謝するばかりです。

また、台風や大雨などの自然災害のニュースを耳にするほどに、災害時の備えについて、想いを巡らせる必要を強く感じます。今回お知らせしました安否確認訓練などもご活用いただき、いざというときの備えができればと思います。